

第4次京丹後市行財政改革の取組に関するまとめ

京丹後市では、市の発展と持続可能な行財政運営の推進に向けた取組を進める指針として、令和2年度に第4次京丹後市行財政改革大綱（以下「大綱」という。）を策定し、また、大綱に掲げる内容を着実に実施していくため、具体的な取組内容や実施スケジュール、目標を示した第4次京丹後市行財政改革推進計画（以下「推進計画」という。）を策定し、改革への取組を展開してきました。

このたび、第4次行財政改革の取組期間（R3年度からR6年度まで）が終了しましたので、取組の実績をまとめ、これまでの取組について振り返りを行いました。

1 大綱の概要

施策の主な内容

- ①積極的な財源確保
- ②ICT等を活用した効的・効果的な行財政運営
- ③公共施設等の効率的・効果的な管理
- ④地方公営企業会計・特別会計の持続可能な会計運営

2 推進計画における目標値と実績値

指 標 名	単位	2019年度 (現状値)	2024年度	
			(実績)	(目標値)
ふるさと納税	億円	2.98	23.32	30.00超
ふるさと納税件数	件	6,243	100,198	130,000
長時間労働者の割合(年間360時間以上の時間外勤務) ※病院勤務者を除く	%	12.9	18.0	6.9
公共施設等総合管理計画個別施設計画編に基づく管理施設数(普通財産以外)	施設	509	501	465
地方公営企業会計・特別会計への一般会計繰出金等(出資金を含む)	億円	46.5	55.3	54.2

3 推進計画実施・目標達成状況

改革への取組	取組 項目数	実施状況			目標達成状況		
		実施段階※1	検 討※1	未実施※1	達 成※2	改 善※2	未達成※2
積極的な財源確保	3項目	3項目 (100%)※3	0項目 (0.0%)	0項目 (0.0%)	2項目 (66.7%)※3	1項目 (33.3%)	0項目 (0.0%)
ICT等を活用した効的・効果的な行財政運営	41項目	40項目 (98.1%)	1項目 (1.9%)	0項目 (0.0%)	30項目 (73.2%)	6項目 (14.6%)	5項目 (12.2%)
公共施設等の効率的・効果的な管理	7項目	6項目 (98.1%)	1項目 (1.9%)	0項目 (0.0%)	3項目 (42.8%)	2項目 (28.6%)	2項目 (28.6%)
地方公営企業会計・特別会計の持続可能な会計運営	1項目	1項目 (100%)	0項目 (0.0%)	0項目 (0.0%)	0項目 (0.0%)	1項目 (100%)	0項目 (0.0%)
合 計	52項目	50項目 (96.2%)	2項目 (3.8%)	0項目 (0.0%)	35項目 (67.3%)	10項目 (19.2%)	7項目 (13.5%)

※1 実施段階：目標に向け取組を行ったもの（一時的な休止を含む）
※2 達 成：取組項目毎に設定した目標を達成したもの
※3 （割合）：実施状況（目標達成状況）÷取組項目数×100

検討：調査・検討を行ったが実施に至らなかったもの
改善：目標は達成出来なかったが、2019年度数値と比較して改善したもの
未実施：取組が出来なかったもの
未達成：目標を達成出来なかったもの

4 施策ごとの主な取組の成果・課題

■積極的な財源確保

- ・ふるさと納税 R6:2,332,450千円 (R2:587,794千円 ※目標 30億円超)
 - ・ふるさと納税件数 R6:100,198件 (R2:17,112件 ※目標 130,000件)
 - ・クラウドファンディング R6:429,242千円 R5:187,491千円 (※目標 継続実施)
 - ・クラウドファンディング件数 R6:17,356件 R5:7,024件 (※目標 継続実施)
 - ・企業版ふるさと納税 R6:21,900千円 (41社) R5:8,700千円 (22社) (※目標 継続実施)
 - ・売却・貸付推進件数: R6:18件 R5:15件 R4:13件 R3:10件 (R2:7件 ※目標 12件/年)
- 【課題】

「ふるさと納税」について、「クラウドファンディング」や「企業版ふるさと納税」など様々な取組に積極的に取り組み、納税件数及び納税額ともに 着実にその推移を伸ばしているところではあるが、企業版ふるさと納税においてもクラウドファンディングの手法を取り入れるなどさらなる抜本的な拡充を図る必要がある。また、市有財産について用途の廃止、縮小、他施設への統廃合等、未利用となった施設の利活用の促進を図り、売却や有償貸付により、引き続き、積極的に自主財源の確保に努める必要がある。

※R2は推進計画策定年度末の実績数字

■公共施設等の効率的・効果的な管理

- ・公共施設等総合管理計画個別施設計画編に基づく、施設の譲渡・除却及び計画的な施設管理を実施 R6管理施設数:501施設 (R2:507施設 ※目標 465施設)
 - ・湊小学校除却 (R3)、旧橘小学校体育館・グラウンドの利活用の公募 (R3) 及び貸付の実施 (R4)
 - ・吉野小学校について弥栄小学校への適正配置を実施 (R5)
 - ・施設の使用料の見直しを実施、令和5年4月1日から使用料を平均化・統一化
 - ・令和5年度より減免団体の登録を行い、統一した減免基準で運用開始 (減免団体登録数:489件 ※R6.3末現在)
- 【課題】

老朽化した多くの公共施設等を保有しているため、施設の計画的な維持修繕による長寿命化など、公共施設等を適正に管理し、市有財産の有効活用を図る取組を推進する必要がある。また、施設の使用料の見直しについて、令和5年度から、統一した使用料、減免基準により運用を行っているが、その妥当性について3年ごとに検証していく必要がある。

※R2は推進計画策定年度末の実績数字

■ICT等を活用した効率的・効果的な行財政運営

- ・マイナポータルを活用した行政サービスの実施 (住民票、税証明、児童手当関係等 R6:24手続き)
 - ・オンライン手続きの割合 (公文書開示請求、入札、地方税電子申告等 R6:94.3%)
 - ・公共施設予約システムキャッシュレス決済にも対応したオンライン完結型システムに変更
 - ・RPA導入による職員の業務効率化 (R6:17業務 ※目標8業務)
 - ・人事評価の有効活用による業務の計画的な遂行の促進、公務能率の向上
 - ・業務改善・働き方改革プロジェクト取組方針に基づき時間外勤務の縮減の取組開始 (オンライン会議の推進、日直業務のアウトソーシング等)
 - ・効率的・効果的な研修の実施 (オンライン研修、eラーニング研修、ペーパーレス形式の研修等)
 - ・職員数、職員給与の適正化、多彩な任用・勤務形態等による組織や人員体制の構築
- 【課題】

オンライン申請による各種手続きなどの活用が着実に進捗しているが、引き続き、ICT等を活用した利便性の高い行政サービスの向上に努める必要がある。また、各種研修や人事評価などの取組を通じて、職員の能力向上や人材育成を図るとともに、ふるさと創生職員や地域おこし協力隊など多様な任用・勤務形態等により、効率的・効果的な組織や人員体制の構築・運営を図る必要がある。

■地方公営企業会計・特別会計の持続可能な会計運営

- ・水道事業会計は、中野浄水場更新整備事業を合併特例債による一般会計出資金を一部財源に実施するなど、将来の負担軽減に努めた
 - ・病院会計について、医療従事者の不足や経費が増加する状況の中、資金不足比率を解消するため、経営改善策を検討
 - ・国民健康保険等、福祉医療分野の特別会計について、高齢化の進展に伴い繰出金も増加傾向にある中、可能な限り効率的な会計運営に努めた
- 【課題】

高齢化の進展や人口減少等により、各企業会計・特別会計ともに収入(財源)確保が厳しくなることが予想される一方で、施設を管理する会計については、その老朽化対応も課題となっている。引き続き、各会計の健全な財政運営を進める必要がある。

5 全体的総括

第4次行財政改革では、「積極的な財源確保」、「ICT等を活用した効率的・効果的な行財政運営」、「公共施設等の効率的・効果的な管理」、「地方公営企業会計・特別会計の持続可能な会計運営」の4項目の実現を目指し、令和3年度から令和6年度までの4年間を取組期間とし、推進計画に掲げる52の項目を中心に取組を展開しました。

その結果、第4次行財政改革推進計画で掲げる指標についてもおおむね目標値を達成し、52の取組項目のうち50項目(96.2%)が実施段階、35項目(67.3%)が取組項目毎に設定した目標を達成し、市の発展と持続可能な行財政運営に向けた取組を進めることができました。

しかしながら、これまで様々な事業に活用してきた合併特例債の活用期間が令和6年度で終了し、最終処分場等の衛生施設をはじめとする大型事業が控える中、これまでより厳しい財政状況が予想される他、人口減少・高齢化・市民ニーズの多様化により、行政に求められる役割は、これまで以上に複雑・高度化しており、引き続き行財政改革を着実に実施しなければならない状況にあります。

今後、市民生活を将来にわたって支えていくためには、財政基盤の更なる強化・充実を図ること、市民ニーズの多様化等に的確に対応するためには、限りある行政資源(人・物・金・時間)を効果的に活用し、DXの推進や働きがいのある職場環境により、生産性の向上を図る必要があることから、新たに策定した行財政改革大綱(第3次京丹後市総合計画「基本計画」まちづくり27の施策)及び第5次行財政改革推進計画に基づいた取組をさらに着実に進めていく必要があります。